片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

「今」に君たちの未来がある

自分にとって、正しいこととは何だ？

「最も辛いことは何か？」と尋ねられたとしたら何と答えるだろう？

もちろん、病気になったり老いてみたり、生きるのだってさぞかし辛い時もあります。死なんて考えただけでも悲しく辛い。そういったどうにもならない辛さというものは、自分ではどうにもならないものなので、ここでは考えないことにします。その他で最も辛いことを考えた場合、人によって答えなんて様々だと思いますが、ここでは私なりの考えを書いてみたいと思います。

今、運動部で頑張っている多くの高三生は、そろそろ部活動のクライマックスです。彼らの表情からも、最後の部活動にかける思いというのが、言葉はなくとも伝わってきます。これは例年のことですが、毎年、この時期になると、彼らの緊張した表情を見ているだけで胸を打たれてしまいます。

そんな感情を抱きつつ私が思うことは「どうか、後悔だけはしないでくれよ」ということです。

実は私は、「最も辛いこと」というのは「過去を振り返り後悔をすること」だと考えています。大人なら誰しも、大なり小なり過去に対する後悔があると思います。人によっては過去のことだと一蹴するかもしれないし、人によっては何ともやるせない思いが胸を刺すかもしれません。人によって様々かもしれませんが、私は、「過去を振り返り後悔をする」ということが最も不毛で辛く悲しいことだと思います。

中学生、高校生は、今自分がやっていることが、今、平々凡々と過ごしている日常が、将来の後悔になるかもしれないと考えることは、恐らくないと思います。それが若さの特権なのかもしれません。しかし、その特権があるのも今の内だと心しておかなければならないと思います。「ああ、あの時、もっと頑張っておけば……」とか「あの時、なぜ、自分は正しいことに気付けなかったのか」などと過去を振り返り後悔をしないためには、中学生、高校生の今、気付いておかなければならないことがあるように思います。これは、人生の先輩としての率直な助言です。

未来の自分が過去を振り返って後悔しないために、今、気付いておかなければならないこととは何でしょう？

今の自分には、今やっていることが絶対に正しいなんてことは分かりません。ですが、正しいものは何かと考えることはできるし、それを正しいと信じて行動することはできます。正しいものは何かを考え続けながら、その考えを信じ、苦しくともがむしゃらに努力することが何よりも大切だということに、今、気付いておかなければならないと思います。静かに耳をすませば、自分にとって正しいことは何かということを自分は知っているはずです。その声に素直に耳を傾け、それに向かって勇気を出して行動することで、きっと未来は開けてくるのだと思います。

あまり自分のことなど書きたくはないのですが、頑張って書いてみます。

実は、私には過去への後悔があります。いろいろ後悔することはあるのですが、中でも、肩を壊し、野球をやめてしまった後悔というのが、私の心の深い傷となっています。肩を壊しボールも投げられない辛さというものは、高校生の心では受け止められないような悲しく残酷なもので、肩の痛みを恨みながら、日増しに、頑張ろう、という気持ちも弱くなっていきました。

そこで、とうとうついに退部することを決心したのですが、まずそれを行動に移す前に伝えておきたい友人がいました。彼とは中学の時からの友人で、中学、高校で、いつもブルペンで並んで投球練習をしていました。言わばライバルのようなものだと考えていた時期もありました。ライバルだと思っていたからこそ、彼にだけは伝えておきたいという気持ちがあり、辞める旨を伝えました。私の想像以上に強く思い留まるように説得してくれたことに感謝しました。ですが、辛さには勝てず、翌日、監督に退部届を提出しに行きました。仲間とは顔を合わさず、そっと去るために、部活の始まるよりも大分早い時間に退部届を提出しようと思っていたのですが、話が延びてしまって、いつの間にか、仲間たちが部室に集まってきました。話も終わり、何とか退部届を提出し、部室に荷物の整理に行きました。仲間もいて随分とバツが悪かったのですが、なるべく笑いながら荷物を整理しました。とにかく早くその場を去りたかった。幸い、その友人はまだ来ていなかったからです。やっと荷物の片付けを終え、仲間に礼を言い、去ろうとした時、バッタリ出くわしてしまった……。「何しょんや？ まさか退部届出したんとちゃうやろな？」と強く問われ、「まぁ、そうなんや。」と極力平静を装って応えました。「退部届、取り返す」と言って、監督のいる部屋へ向かおうとする友人を見て、私にはその場を去ることしか選択肢が無かった……。それが高二の一月でした。後半年我慢すれば、もっと違っていたのかもしれません。

今でも夢に見ます。夢の中では、その友人が退部届を取り返してきて、私も何とか思い留まり、そこから話が始まります。夢とは言え、投手としてプレーすることは無理なので、夢の中ではマネージャーとして裏方に徹し、そして、夏の大会の最後の時がやってきます。その時、「あぁ、頑張っていて良かった」と泣いている自分がいます。けど、目が覚め、それが夢だと気付くと、一気に現実に引き戻され、何ともたまらないものが襲ってきます。

今思えば、あの時の自分には正しいものが見えていたように思います。ですが、それを信じ、実行する強さ、勇気が欠けていたように思います。

私のことを書いてしまって申し訳ないという気持ちでいっぱいですが、このような思いをしてきたからこそ、未来のみんなには過去を振り返って後悔して欲しくない、という思いは誰よりも強いと思っています。

たとえ今が辛く厳しいものであっても、今できることを全力で頑張ってください。苦しめる今、苦しんでおけば、将来の苦しみも軽くなります。

「今」に君たちの未来があるのだということを忘れないでください。

パズル道場

パズル道場 受講生募集中！

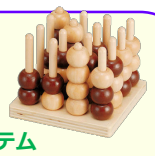
『できなくても 考えた分だけ かしこくなる！』

楽しみながら数学的なセンスや思考力を育てる画期的な能力トレーニングシステム

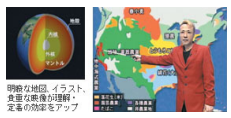
毎週土曜日 14：00～15：00 or 毎週月曜日 17：00～18：00

対象：小学生・中学生 場所：片桐英数塾 坂本教室

体験・説明等、随時受付しております。お問い合わせは、坂本教室まで！



映像授業をうまく活用して志望校合格を目指そう！



『受験勉強の出遅れを挽回したい。』『志望校を妥協したくない！』『各教科万全にしておきたいけれど何をやっていいか迷っている』という皆さん、今から受験本番までの時間の使い方が重要です。ポイントを絞り込んだ河合サテライト講座の映像授業＋問題演習で効率良くレベルアップしていこう。体験受講してみたいという人は、坂本教室までいつでもお気軽にどうぞ！！

片桐英数塾からのお知らせ

坂本教室・天神教室の、6月のお休みは、
6月1日(日)，8日(日)，15日(日)，
22日(日)，29日(日) です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

HPｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ katagirijuku@docomo.ne.jp

京都大学工学部合格 K.Yくん
センター試験地理Bの瀬川先生には何度も励ましてもらった。受験勉強中、気持ちが落ち込んだ時には、瀬川先生の言葉を聞くためだけにサテライトブースに行くこともあった。

千葉大学工学部合格 K.Tくん
グラフィックスなどを用いて説明してくれるのでとても理解しやすいです。個性的でおもしろい先生が多いので、ちょっとした気分転換にも良いと思います。センター地理はおすすめです。

愛媛大学法文学部合格 S.Gさん
リスニングは、1．5倍速や2倍速でのトレーニングもでき、役に立ちました。リスニングがかなり苦手だったけど、センター本番ではけっこう高得点がとれました。

岐阜大学地域科学学部合格 T.Sくん
センター数学ⅠAⅡBにおいて、便利な小技をいくつか知ることができてマークタイプの試験だけではなく、記述の問題でもとても役に立ちました。

立命館大学情報理工学部合格 J.Kさん
先生は個性的でおもしろく、説明も分かりやすい。分からなければ何度も繰り返せるし、聞いてて自分で解けそうなら、いったん映像を止めて自分で考えてから、再生して答えを知ることもできて便利。

兵庫県立大学環境人間学部合格 Y.Yさん
数学センター対策の森本先生の解説はとても分かりやすく、毎回の授業で必ず何か得られることがあり本当に役立ちました。地理センター対策の瀬川先生は見た目は派手でびっくりしましたが、初めにお試しで受けた授業の、熱帯の説明がすごーく分かりやすくて感動しました。先生の熱いお言葉にも何度も助けられました。